

チーム力醸成の場に

研修センター宿泊フロアに ウェルネススペースを創出

大成ロテック

大成ロテックは、埼玉県鴻巣市にある鴻巣研修センターの宿泊フロアをリニューアルした。簡易的な間仕切りで2人が共用していた宿泊室を完全個室化しプライベート性を高めた。中央廊下を拡張し多目的に活用できる「ウェルネススペース」も創出。研修中の新入

社員から好評を得ている。研修センターは同社社員に加え、大成建設の基幹専門工事業者で構成する倉友会連合会などの研修にも利用されている。改修工事は2、3階の宿泊フロア（各20室）が対象。創立60周年記念事業の一環で昨年12月10日に着工し、3月30日に

完成した。設計・施工を大成建設が手掛けた。

宿泊室は簡易的に分断していたパーティションを撤去し壁を新設。個別の空調機を設けクロスも張り替えた。各部屋の前面にあった幅約1・8畳の共用スペース（前室）と廊下を分断する壁を撤去し一体化。幅約2畳の廊下を約5・7畳に拡張しコミュニケーションを生む共用空間とした。共用空間には「アクティブ」「リラックス」「スタディー」の3ゾーンを設け

た。壁の解体でむき出しになった柱は木目調の本棚に有効活用。モルタル調の床や人工芝など外構を想起させるインテリアでまとめた。大成建設設計本部建築設計第四部設計室の横山恭太氏は「活発なコミュニケーションを通じチーム力を育んでほしい」と期待する。新入社員からは「非常にきれいで快適」などの声が寄せられているという。大成ロテックは新しい研修施設の形を社外にもアピールしていく考えだ。



3ゾーンに分かれる
ウェルネススペース